



令和7年度 さいたま市立土呂中学校 学校だより

見沼のほとり

第 1 号
令和7年4月8日

学校教育目標 主体的に生きる人間の育成 《意欲・健康・豊かな心》

新たなスタートを迎えて

校 長 金子 慎一郎

新年度を迎え学校周辺の桜並木からは、ピンク色の満開の花びらが春を感じさせてくれています。また正門前の芝川河川敷には菜の花も咲き乱れ、黄色と緑の鮮やかな景色が見られます。表題は土呂中学校の校歌の一節です。

新入生のみなさん入学おめでとうございます。そして在校生のみなさん、新学年への進級おめでとうございます。令和7年度の土呂中学校での学校生活の始まりです。今年度は、新入生133名を迎え、全校生徒400名、学級数13（通常学級11、特別支援学級2）、教職員50名でスタートしました。



さて、本校は開校30年目を迎えこれまで多くの方々に支えられ、輝かしい歴史を刻み続けてきました。学校を取り巻く環境は大きく変化し、デジタルと体験・交流等をバランスよく融合し、誰一人取り残さず、生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力を育成することや、これまでの学校教育の蓄積を生かして、学びの場や居場所の選択の幅広げるなど新しい時代の学校のあり方も模索していくことが求められています。そこで、次世代を生き抜く生徒の育成のために、本年度の学校教育目標は継承して次のとおりとし、この目標をもとに教職員が一丸となって教育活動に取り組んでまいります。

主体的に生きる人間の育成 —意欲・健康・豊かな心—

〈意欲〉「何事にも意欲的に取り組む生徒」（自ら学ぶ力・基礎学力・判断力・やり続ける力）

〈健康〉「たくましい身体と強い意志をもつ生徒」（充実した体力・気力・生涯にわたり学び続ける力）

〈豊かな心〉「相手を思いやり、豊かに人間性をつくることのできる生徒」

（豊かな感性・情操・世界を視野に入れたコミュニケーション）

ところで、私は生徒の皆さんに大切にしてほしいと思っていることが3つあります。それは「挨拶」、「心遣い」、「笑顔」です。「挨拶」はコミュニケーションの基本になり、「心遣い」は新入生に対する先輩の心遣いであったりします。そして「笑顔」は周りの人も明るくしてくれます。是非皆さんも土呂中学校の生徒として大切にしてほしいと思います。また、今年度は21世紀の社会を生き抜く力をはぐくむために、「真の学力」の充実と「主体的・対話的で深い学び」の促進に取り組んでまいります。

（真の学力とは、知識・技能、思考力・判断力、表現力等の認知能力と「学びに向かう力」、「物事をやり抜く力」、「自己肯定感」、「人や社会と係わる力」などの非認知能力を合わせたもの）

4月は出会いの時期でもあります。春休み中に部活動に登校していた生徒が、実に気持ちのよいあいさつを交わしてくれました。一人ひとりの幸せな人生と豊かな社会を創造するために、学校・家庭・地域がみんなで力を合わせて子供たちの健やかな成長を促していきたいと思います。保護者や地域の皆様には、本校の教育活動により一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。